

富士北稜高校:親子カルチャー教室



夏休みに入って間もない7月25日(土)、富士北稜高校(山田泰男校長)で親子カルチャー教室が行われました。7回目を迎えた今回は、福祉健康系列で「ミシンでマイはし袋を作ろう」情報系列で「オリジナルプリクラを作ろう」機械テクノロジー系列で「ペットボトル・ソーラーカーの製作」の3つの講座が開かれました。吉田地区・湖畔地区の小学生の親子25組51名の申し込みがあり、夏でも涼風が薫る中で実施されました。富士北稜高校の高校生17名がミニ先生として小学生親子のものづくりを支援してくれました。エコを意識した

布製はし袋に手際よくインシヤルを入れて完成、持ってきた電子データに描画と文字を組み合わせ、光を当てると車のタイヤが回転。親子でものものづくりをする楽しさだけでなく、高校生と小学生のふれあいに児童生徒それぞれ感じるところがあったようです。



帝京科学大学:夏休み親子科学教室



真夏の太陽が照りつける7月26日(日)、帝京科学大学(沖永莊八学長)と地域教育明日の風との共催で親子科学教室が行われました。今年は、4つのコース(A 麦わら細工を楽しもう B 動物を知ろう C 自然観察 D 小さな科学者養成講座)に100名を超える親子の申し込みがありました。

Aコースでは、ホタルかごやリースなど思い思いの創作を行いました。Bコースには、うさぎなどとふれあうコーナーやクイズコーナーなどを設けて、子どもたちが楽しめる空間が広がっていました。Cコースは時間帯が朝・昼・夜の3コースに分かれ、上野原町内の桐原地区・鶴川地区で小動物や水生昆虫を探索しました。Dコースでは、REGOを使って、てこや歯車の実験の楽しさを味わっていました。それぞれのコースで子どもたちは、新しい発見をしていました。



行いました。Bコースには、各教室にへびやコーナーやクイズコーナーとなっていました。Cコース



谷村工業高校:親子ものづくり教室



夏休みも終わりに近づいた8月22日(土)、谷村工業高校(数野均校長)で第6回親子ものづくり教室が行われました。5コース(①クールでおしゃれな親子グラス②染色とフラワーアレンジメント③ホパークラフトの製作④プラントナーの製作⑤電子回路搭載スーパーカー)に親子20組40名が参加しました。谷村工業高校の生徒の皆さんがミニ先生となり、各親子ごとに製作のアドバイスをっていました。オリジナルデザインを考えたり、型紙をていねいに切り取ったり、パーナーを操作したり、ハンダ付け作業に取り組んだり、子どもたちの真剣な目は将来の科学の発展を期待させるものでした。また保護者の皆さんも子どもたちと一緒にものづくりの取り組み、その姿に子どもたちも何かを感じたようでした。子どもたちは、見事に仕上がった作品と修了証を持って胸を張って帰途につきました。



過去・現在・未来を考える吉田空襲展が開催!



7月24日(金)~26日(日)の3日間、下吉田コミュニティーセンターで富士吉田市教職員組合主催の第27回吉田空襲展が行われました。終戦から64年が経過し、戦争を知らない世代が多くなるなかで、平和の尊さを伝える試みとして続けられています。今年も当時を語る衣服や写真、ジオラマが展示され、子どもたちは、恐ろしさと悲惨さを感じ取っていました。また、子どもたちは、ことぶき勸学院のみなさんと昔の遊びを共有したり、近隣の高校生の活動を目にして、平和の中で生きることの大切さを感じ取っているようでした。初日に行われた本の読み聞かせは、富士北稜高校福祉系列の生徒の皆さんの手で行われ、戦争中の動物の家族の物語に30数名の小中学生が聞き入り、平和な世界の創造に向けた決意が感じられました。



南都留地域教育フォーラムに参加を! ~みんなで育む地域連携・地域交流~

期日: H21年10月29日(金) 13:00 受付

場所: 富士吉田市立下吉田第二小学校

一分科会テーマー

アクション: 「光っ子コンサート」下吉田中学校 ソーラン隊

① 幼保小絵「幼保小の接続~接続の接点~」

② 小中絵「子どもの心と体を見ずえて 育ちを考える」

③ 中高絵「開く高校 開く大学」

④ 児童生徒絵「人材や素材を活用して 学びを考える」

⑤ 行政・地域団体・学校絵「地域が子どもたちを育てる」

⑥ 特別支援教育絵「広がる特別支援」

⑦ PTA絵「子どもを守り育てるPTA活動Ⅱ」

* 詳細については、地域支援スタッフまで お問い合わせください

富士河口湖高校：親子科学教室



8月1日(土)富士河口湖高校(渡邊芳信校長)で親子科学教室が行われ、南都留地区の小学校に通う親子27名が高校を訪れました。今年で2回目となり、ボランティアの生徒と職員合わせて20数名が各ブースに分かれてそれぞれのアトラクションの手ほどきをしました。化学実験室で、科学的な性質を使った実験やものづくりを体験し、浮沈ボトルや人工イクラづくり等に挑戦しました。また、化学講義室では、サイエンスショー(錯覚の不思議体験や冷やす仕組の体験)が行われました。曇り空でしたが、大きなシャボン玉が天空へ舞い上がっていく様子を見ながら科学の楽しさを感じた一日となりました。



上野原高校でパソコン講座を開催！



8月2日(日)、上野原高校(尾形光三校長)で地域住民対象のパソコン講座が開かれました。この日は広報やチラシを見て応募した17名が今年2月にリニューアルしたばかりのパソコン室に集まりました。今年で3回目となり、教科「情報」を履修している生徒がアシスタントとして講座の手助けを行いました。前半は、インターネット検索についての講義と実践が行われ、パソコン初心者の皆さんは、初めて触るキーボードとマウスで検索サイトを操っていました。パソコンの操作について生徒からていねいな手ほどきを受け、しだいに和やかな学習の場になりました。後半は、エクセル初歩の学習をしながらパソコンの実用性を学び、新しい知識に対して受講者が熱心にメモをとる姿には感心しました。アシスタントの一人は、教えるのは難しいといいながら、受講者の間を動き回り、熱心に教えている姿が大変印象的でした。



特別支援教育講演会が富士北麓地区で開催



8月20日(木)、富士北麓地区特別支援連携協議会で主催された特別支援教育講演会がふじざくら支援学校(萩原公子校長)で行われ、南都留の教育・行政機関等の関係者70名余りが参加しました。講師には山梨大学准教授相原正男先生を迎え、「発達障害児の理解と支援～他種職連携をめざして～」と題して講演をいただきました。脳の成長と人の成長を対比させながら、アイコンタクトの大切さ、5歳児検診の必要性、自己を確立していく経過等について説明をいただき、障害の原因に応じた対応をしていくことが日々必要である事をご教授いただきました。また、特別支援教育について、行政機関等の連携が行われ成果を上げつつあり、今後も医療・福祉・教育関係機関のトータル的な連携の必要性を強調されました。



特別支援連携研修会が東部地区で開催



8月21日(金)、やまびこ支援学校ゆうあい会館(河野一郎校長)で東部地区特別支援連携研修会が行われました。東部地区特別支援連携協議会が主催し、特別支援教育セミナーとして、東部地区の教育・福祉関係者・やまびこ支援学校職員・保護者が集まりました。まず、河野校長より「障害児教育の原点」について講演がありました。働く(はた楽)ことの意義、職員全員で支援する体制作り、教材作り等について、特別支援教育に三十数年携わった経験をもとに適切なアドバイスがありました。また、指導事例からは具体的な個々の指導の在り方が示され、小・中学校の特別支援学級での日々の指導の参考になりました。さらに、やまびこ支援学校職員の手作り教材は、日用品を利用して工夫を加えたものが多く、これらも大変参考になりました。



「明日の風」掲示板 (北都留)

- ☆ 第4回アスリート実技講習会(記録会)
期日:10月3日(土) 8:30~15:00
場所:やまびこ競技場
- ☆ やまびこまつり
期日:10月10日(土) 8:45~12:10
場所:やまびこ支援学校
- ☆ 伊藤知治教士八段剣道教室
期日:11月21日(土) 12:00~16:30
場所:猿橋小学校 体育館

「富士の光」掲示板 (南都留)

- ☆ 南特連学習会
期日:9月29日(火) 15:00~17:00
場所:ふじざくら支援学校
- ☆ 青い麦の子大会
期日:9月30日(水) 9:30~14:30
場所:富士スバルランド森林公園(ドギーマーク)
- ☆ 山梨県就学啓発推進会議
期日:10月15日(木) 13:30~16:00
場所:総合教育センター



——本掲示板についての問い合わせ先——
富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ
TEL 0554-45-7841 FAX 0554-45-7823

